



2014 ノーベル賞発表!!!



10月、日本を明るくする大ニュースが流れたのは、みなさんの記憶に新しいことと思います。2014年のノーベル物理学賞に、赤崎勇・天野浩・中村修二の3氏が選ばれたのです。速報の瞬間、日本中が喜ばしい華やかな空気に包まれました。

受賞理由は「明るい・省エネルギーの白色光を可能にした、青色発光ダイオードの発明」。20世紀中には不可能と言われていた青色発光ダイオードを赤崎・天野両氏が開発したのが1989年。さらに4年後の1993年には、中村氏が独自の技術で進化させ、実用化に発展させました。先に開発されていた赤、緑と合わせた3原色がそろったことで、あらゆる色を生み出すことが可能になり、「第4世代の光」として今や私たちの生活のあらゆる場面に欠かせない存在となっています。ノーベル賞の趣旨である、「人類への貢献」という観点からも、申し分ない功績と評価されたのでしょう。当たり前存在となっているからこそ、この機会にあらためて私たちもその価値を知ることができた気がします。日本人の受賞者は今回で22人になりました。

他の賞に目を向けると、平和賞に17歳という史上最年少で、パキスタンのマララ・ユスフザイさんが選ばれたことにも注目です。勇気をもって女性の教育権の向上・機会拡大を訴えた彼女の姿は、全世界の女性に勇気と希望を与えています。未来を担う子どもたち向けの児童書も出版されているので、機会があればぜひ手に取ってみてください。

一方で文学賞では、今回も有力視されていた村上春樹氏の受賞はなりません。メディアでも注目され、発表前から盛り上がりが大きかった分、ファンの間からは落胆の声が少なからず漏れていました。歴代22人の日本人受賞者のうち文学賞受賞者は2人です。3人目が待ち望まれます。



『もっと知りたい！ ノーベル賞』

若林 文高/監修
文研出版
児童 377モ

ノーベル賞は、どのように誕生したのでしょうか？受賞者をどうやって選ぶのでしょうか？人類に役立つ研究や活動をした人びとに送られるノーベル賞について、わかりやすく解説します。



『負けてたまるか！ 青色発光ダイオード 開発者の言い分』

中村 修二/著
朝日新聞社
507モ

1兆円規模の市場を生み出し、100年に1度と言われる発明への相当な対価とは？

かつての勤務先を提訴し東京地裁で勝訴した著者が、「反逆」といってもいい自らの人生を綴る。



『武器より一冊の本を ください』

ヴィヴィアナ・マツツア/著
横山 千里/訳
金の星社
Y289.2ユ

パキスタンに住む普通の少女マララは、「女の子というだけで学校で勉強する機会を奪われたくない」とブログで書いたために銃撃された。奇跡的に助かった彼女が、教育の自由を全世界に訴える勇気の物語。

<図書館カレンダー>

※毎週火曜日は休館日です。

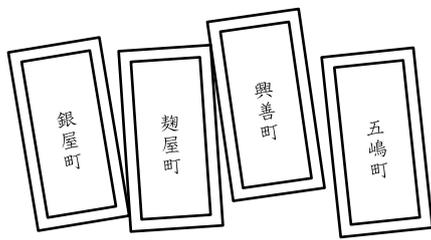
※開館時間 10:00～20:00

※12/29～2015/1/4は、

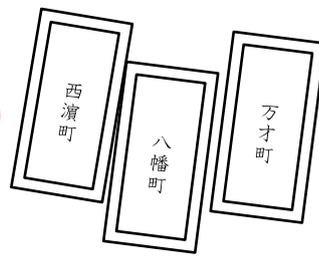
年末年始の休館期間です。



11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23/30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			



長崎くんち



としょかんだより 9月号でも紹介していましたが、今年の長崎くんちの踊町のひとつに、興善町がありました。興善町の傘鉾が長崎市立図書館のクロスロードに展示されていたのを、目にされた方も多いと思います。また、10月3日(金)の庭見世も図書館の多目的ホールで行われ、本番に使用される衣装などが飾られているのを見に、多くの方が足を運んでいました。

図書館の一角が紅白の幕で覆われ、庭にはお囃子も流れ、くんちもいよいよといった感じでした。また、正面玄関には市章の幕も下がり、いつもと違った雰囲気がありました。

普段図書館をそれほど利用しなくても、この庭見世には来られたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。くんち期間中、傘鉾は図書館から出発し、図書館へと帰ってきていたので、運の良い方は見かけられたかもしれません。



さて、くんち3日間のうち、前日の7日は火曜日で図書館は閉まっていますが、中日と後日には、それぞれの踊町が庭先回りに来てくれました。今年のカンチは天候にも恵まれ、ここ数年ではめずらしく3日間とも秋晴れのお天気だったので、お出かけになった方も多かったのではないのでしょうか。やはり目の前でみると迫力が違うものです。

そして、最後には興善町の皆さんが踊町である自分の町へと戻って、本踊を披露してくれました。町の皆さんと図書館を利用していた皆さんも集まり、皆で一体となって最後は三本締めで華やかに幕を閉じました。



くんちの期間に合わせて、毎年2階フロアでは関連展示も行なっています。今年は知らなかったという方も、来年はぜひくんちに関する資料を借りて、もっと詳しく知って、より一層くんちを楽しんでみてはいかがでしょうか。

来年のくんちも今から楽しみです。



ブック・バトン

今月のテーマ

お菓子



2人の図書館員がテーマに沿っておすすめの本を紹介します

「物語の中のお菓子」

誕生日やクリスマス、バレンタインなど、特別な行事にはお菓子の存在が欠かせません。甘い物が好きな私は、色とりどりのケーキや焼き菓子を眺めているだけで、幸せな気分になります。今月は「読むと食べたくなる」、そんなお菓子が登場する物語をご紹介します。

『ラ・パティスリー』は、フランス菓子店で働く新米パティシエの物語です。作中のお菓子の描写は秀逸で、想像力を掻き立てられること間違いありません。パティシエという、一見華やかに見える仕事の大変さも垣間見ることが出来る一冊です。

『つばさものがたり』は、がんを患った主人公の小麦が故郷でケーキ屋を開くところから始まります。甥の「ここ、はやらないよ」という一言が気になりつつも、お店は開店。その後の展開は小麦にとって苦しいものになりますが、彼女のひたむきな努力には心を奪われるものがあります。もちろん、美味しそうなお菓子もたくさん登場しますよ。

秋も深まったこの季節。美味しいお菓子と心温まる小説でゆったりとしたひと時を過ごしてはいかがでしょうか。
(司書：古巣 明日香)



- 上) 「ラ・パティスリー」 上田 早夕里/著 角川春樹事務所 F913.6 ヲ
- 下) 「つばさものがたり」 雫井 脩介/著 小学館 F913.6 シ*

「懐かしのお菓子」

あなたにとって「お菓子」とは何ですか？私にとって「お菓子」は、学校から帰って食べる「おやつ」のことでした。ドーナツや蒸しパン、クッキーなど母の手作りで、駄菓子屋さんにあるようなカラフルなお菓子は遠足の時の特別なお菓子でした。

『日本の名随筆 54 菓』は、作家や詩人など文筆業を生業とする方たちのお菓子にまつわるこだわりや思い出が綴られています。時代を超えて、甘くて懐かしくそして温かな気持ちが胸の中に広がっていく本です。

『昭和のお菓子』は、駄菓子屋さん売っていた、懐かしのお菓子やロングセラーのお菓子が満載です。写真が多く、当時と現在でパッケージが微妙に違うことに年月を感じます。親子でお楽しみください。

『スイーツ・ノスタルジー』は、懐かしのお菓子を自分でも作ってみたいという方にお勧めします。カルメ焼きや鈴カステラ、べっこう飴などお祭りで見かけたお菓子をはじめ、揚げ餅やいも羊羹、キャラメルなどが手に入りやすい材料で作れます。手づくりで安心なおやつは、親と子双方の気持ちを満たしてくれることでしょう。

甘く懐かしく、幸せな気分にしてくれるお菓子。今の私には、「お菓子」は食べ過ぎれば「敵」でもあり「毒」にもなります。食欲の秋ですが、食べ過ぎは禁物！と肝に銘じるこの頃です。
(司書：甲村 泰子)

- 上) 「日本の名随筆 54 菓」 作品社 F914.6 ニ
- 中) 「昭和のお菓子」 玄光社 K588.3 シ
- 下) 「スイーツ・ノスタルジー」 中野 佐和子/著 旭屋出版 4階書庫 K596.6 ナ



図書貸出券には有効期限があります



- 登録された日以降の誕生日から 3 年 2 ヶ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の 6 ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。
また、有効期限の 2 ヶ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの 2 ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申請書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- **有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

図書館テレビ

毎月 1 回月曜日、午後 6 時 20 分～午後 7 時 NHK
総合「そこが気になる」のコーナーで放映中!



『ニッポンありやまあ
お祭り紀行 秋冬編』
椎名 誠/著
講談社
B915.6 シ

奇妙奇天烈な「ありやまあ」祭りをターゲットに取材敢行した本。日本各地の、驚きに満ちた、迫力満点のお祭りが楽しめること間違いなし。あなたもきつと行ってみたいくなるはず。

図書館ラジオ

毎月第 2 金曜日、午後 2 時、長崎シティFM
(81.3MHz)「ウィーパラライブラリー」で放送中!



『紙つなげ! 彼らが
本の紙を造っている』
佐々 涼子/著
早川書房
585 サ

東日本大震災で被災した日本製紙・石巻工場。機能は全停止し、従業員でさえ復旧は無理だと考えた。しかし工場長は半年での復興を宣言。その日から、彼らの闘いは始まった……。奇跡の工場再生を描いたノンフィクション。

予約ランキング

※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承下さい。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	虚ろな十字架	東野 圭吾	光文社	334	6	明日の子供たち	有川 浩	幻冬舎	180
2	村上海賊の娘(上巻)	和田 竜	新潮社	270	7	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾	講談社	179
3	銀翼のイカロス	池井戸 潤	ダイヤモンド社	243	8	豆の上で眠る	湊 かなえ	新潮社	177
4	マスカレード・イブ	東野 圭吾	集英社	241	9	荒神	宮部 みゆき	朝日新聞出版	163
5	ペテロの葬列	宮部 みゆき	集英社	213	10	山女日記	湊 かなえ	幻冬舎	152

(2014年10月20日現在)